



—研究者たちの独創的で多様な研究活動を支援—

## 2023年度稲盛研究助成に50名を採択

公益財団法人稲盛財団（理事長 金澤しのぶ）は、3月10日（金）の理事会において、国内の自然科学、人文・社会科学の若手研究者を対象に、独創的で優れた研究活動に対して助成する稲盛研究助成の2023年度対象者を決定しましたので、お知らせいたします。



贈呈式の様子（2019年）

**採択人数：**自然科学系 40名／競争率 8.3倍

人文・社会科学系 10名／競争率 6.4倍 （計 50名）

**助成金額：**1件につき 100万円（計 5,000万円）を贈呈

**助成実績：**1985年度～2023年度＝延べ 1,829名、18億 1,940万円

「2023年度稲盛研究助成金贈呈式」は4月15日（土）に京都市内にて開催いたします。また、これまで行っていた贈呈式後の3S<sup>(\*)</sup>総会は、本年より3S交流会と形態を変えて、約30名の会員によるポスター発表を軸に行う予定です。詳細は改めてお知らせいたします。

(\*3S: 次頁5. 参照)

### ■ 本件のお問い合わせ

公益財団法人稲盛財団 広報課 平川 直希・中島 剛

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 620 番地 COCON 烏丸 7F

TEL: 075-746-2523 E-mail: [press@inamori-f.or.jp](mailto:press@inamori-f.or.jp)

URL: <https://www.inamori-f.or.jp>



## 稲盛研究助成について

稲盛財団創業者 稲盛和夫の理念に基づき、未来の人類社会に貢献する人材育成を目的として、1985年より毎年、国内の自然科学、人文・社会科学の若手研究者を対象に、独創的で優れた研究活動を支援しています。

### 1. 2023年度選考結果

2023年度は、国内の選抜された国立大学、公立大学、私立大学、大学共同利用機関法人、その他の研究機関に所属する394名（自然科学330件、人文・社会科学64件）の研究者から応募がありました。

いずれの研究テーマも新しい視点やユニークな取り組みによりそれぞれの研究分野に発展をもたらし、将来的に人類や社会への大きな貢献が期待できるものです。2023年度を含めた稲盛研究助成の助成対象者は延べ1,829名、助成総額は18億1,940万円となります。

### 2. 助成金額

1件につき100万円。毎年、自然科学系40件、人文・社会科学系10件、計50件（5,000万円）を助成します。

### 3. 助成金の使途

当該研究の遂行に必要な経費である限りにおいて、その使途に制限はありません。

### 4. 伯楽制度

本研究助成のユニークな制度として「伯楽制度」があります。これは中国の故事「千里馬常有而伯楽不常有（千里の馬は常に有れども、伯楽は常に有らず）」にちなみ、当該年度の助成対象者に選ばれた方の中で、抜きん出て優秀かつ有望な研究を行うと選考委員会が認めた方に対して2年連続して助成する制度です（2023年度の適用者はありませんでした）。

### 5. 盛和スカラーズソサエティ（3S: Seiwa Scholars Society）

本研究助成を受けた対象者相互の交流と親睦を深めることによる研究のさらなる発展を願い、1997年に発足しました。専門分野が細分化され、学問全体が見えづらい近年、異分野間の横断的かつ学際的な思考の重要性がますます求められています。3Sの会員は、自然科学から人文・社会科学にいたる幅広い分野の研究者で構成され、研究発表、交流会、メールマガジンなどを通じて、専門分野を越えた交流をはかっています。



## 2023 年度稲盛研究助成 選考委員会名簿

2023 年度稲盛研究助成対象者は、下記の委員長および委員によりご選考いただきました。

委員長 村 上 正 紀 立命館大学 特別研究フェロー

### [自然科学系]

委員 審 良 静 男 大阪大学 ワクチン開発拠点  
先端モダリティ・DDS研究センター 拠点長  
〃 巖 佐 庸 九州大学 名誉教授  
〃 上 田 正 仁 東京大学 大学院理学系研究科 教授  
〃 岡 田 清 孝 京都大学 名誉教授  
〃 影 山 龍一郎 理化学研究所 脳神経科学研究センター センター長  
〃 片 岡 一 則 (公財)川崎市産業振興財団 副理事長  
東京大学 名誉教授  
〃 君 塚 信 夫 九州大学 大学院工学研究院 主幹教授  
〃 佐々木 節 東京大学 国際高等研究所  
カブリ数物連携宇宙研究機構 副機構長  
〃 坪 井 俊 武蔵野大学 工学部 特任教授  
〃 西 田 栄 介 理化学研究所 生命機能科学研究センター センター長  
〃 野 田 進 京都大学 大学院工学研究科 教授  
〃 安 浦 寛 人 国立情報学研究所 副所長・学術基盤チーフディレクター  
〃 柳 田 素 子 京都大学 大学院医学研究科 教授  
〃 山 田 容 子 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授

### [人文・社会科学系]

委員 井野瀬 久美恵 甲南大学 文学部 教授  
〃 玄 田 有 史 東京大学 社会科学研究所 教授  
〃 河 野 哲 也 立教大学 文学部 教授  
〃 山 室 信 一 京都大学 名誉教授  
〃 渡 辺 千 原 立命館大学 法学部 教授

※肩書きは 2022 年 12 月 1 日現在



## 2023 年度研究助成対象者ならびに研究題目

### 【自然科学系】

対象者	研究題目
アキヤマ ミドリ 秋山 みどり 京都大学 大学院工学研究科 助教	箱型分子ペルフルオロキュバンの電子伝導性の解明
アラキ テッペイ 荒木 徹平 大阪大学 産業科学研究所 准教授	柔軟性や透明性を有する大規模有機回路の研究
イシワリ フミタカ 石割 文崇 大阪大学 大学院工学研究科 講師	デザイン型二面性分子によるペロブスカイト太陽電池の表面パッシベーション
イノウ ダイスケ 稲生 大輔 大阪大学 大学院医学系研究科 特任講師	サイトカイン受容体を標的とするリガンド動態を可視化する蛍光センサーの創生
イワサキ ユカ 岩崎 由香 理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー	小分子RNAとトランスポゾンが形作るヘテロクロマチン構造の理解
ウジハラ ヨシヒロ 氏原 嘉洋 名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授	鳥類心筋細胞の高出力を生み出す仕組みの解明
ウスイ ノリヨシ 臼井 紀好 大阪大学 大学院医学系研究科 准教授	薬物依存における新規依存形成メカニズムの解明
エイナガ マリ 榮永 茉利 大阪大学 大学院基礎工学研究科 助教	室温に近い超伝導転移温度をもつ3元系水素化合物の探索
オサベ ケンジ 長部 謙二 大阪大学 産業科学研究所 助教	光質の変換操作による植物の形質変化と遺伝子発現解析
カク シゲル 加来 滋 東京工業大学 理学院 助教	グラフェンを介したエピタキシャル成長の理解と制御
カリヤ ショウタ 刈屋 翔太 大阪大学 接合科学研究所 助教	酸素固溶チタン合金の高延性化機構解明
キクタ ジュンイチ 菊田 順一 大阪大学 大学院生命機能研究科 准教授	骨・関節破壊における破骨細胞の機能とその制御機構の解明



対象者	研究題目
キムラ ケンイチ 木村 健一 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 助教	CD73陽性細胞による骨髄造血微小環境形成メカニズムの 解明
クルマジ タカシ 車地 崇 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 助教	磁性と伝導電子が強く結合した新規磁性トポロジカル 半金属の単結晶育成と物性解明
コガ サオリ 古賀 沙緒里 熊本大学 発生医学研究所 助教	造血幹細胞の試験管内分化モデルの構築
ゴトウ タイチ 後藤 太一 東北大学 電気通信研究所 准教授	スピン波光波変換素子に適した磁気光学ナノ構造体の開発
コバヤシ ノブユキ 小林 信之 大阪大学 核物理研究センター 助教	結晶標的を用いた新しい原子核反応の研究
サカイ ユウジ 境 祐二 京都大学 医生物学研究所 特定准教授	細胞内分解機構の理論的解明
サカモト タカイク 阪本 鷹行 徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 講師	<i>Fusarium</i> 属糸状菌によるポリマー原料発酵生産技術の開発
サカモト マサユキ 坂本 雅行 京都大学 大学院生命科学研究科 特定准教授	脳深部イメージングのための超高輝度プローブの合理的 設計
サダ アイコ 佐田 亜衣子 熊本大学 国際先端医学研究機構 特任准教授	周産期ウェルビーイング実現へ向けて：常在菌を介した 表皮幹細胞形成メカニズムの解明
サトウ エイスケ 佐藤 英祐 岡山大学 学術研究院自然科学学域 助教	電気化学的手法によるインドールの環化三量化反応
サトウ ハジメ 佐藤 玄 山梨大学 大学院総合研究部 特任助教	実験科学と計算化学の協奏によるテルペン環化酵素の解析
セキモト アツシ 関本 敦 岡山大学 学術研究院環境生命科学学域 准教授	数理最適化理論に基づくデータ駆動型の先端流動制御
タカハシ ユウマ 高橋 佑磨 千葉大学 大学院理学研究院 准教授	ウキクサにおける種内多様性の生態的機能とそのメタ遺伝 基盤



対象者	研究題目
タケダ ヒロノリ 竹田 弘法 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教	ミトコンドリア外膜トランスロケーターSAM複合体のタンパク質膜挿入プロセスの構造生物学的研究
タナカ ワカナ 田中 若奈 広島大学 大学院統合生命科学研究科 助教	植物ホルモンが司る腋芽幹細胞創生機構の解明
タマミツ ミウ 玉光 未侑 東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教	分子生物学データを教師とした非標識光学計測による非破壊な細胞表現型分析基盤の開発
ツカサキ マサユキ 塚崎 雅之 東京大学 大学院医学系研究科 特任助教	新しいタイプの骨形成細胞の発見と制御
ニシカワ ツヨシ 西川 剛 京都大学 大学院工学研究科 助教	ホウ素含有ビニルポリマーの解重合性設計を基軸とした循環利用型高分子の開発
ノダ タイチ 野田 大地 熊本大学 大学院先導機構 准教授	異数性生殖細胞で起こる精子形成ダイナミクスと受精能力の検討
ヒルシュベルガー マクシミリアン Hirschberger, Max 東京大学 大学院工学系研究科 准教授	熱輸送によるスピン励起の量子位相の検出
ヒロセ ヒサアキ 広瀬 久昭 京都大学 化学研究所 特定准教授	細胞内抗体送達ペプチドの細胞選択性機序解明
フクシマ キヨハル 福島 清春 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任助教	多様な単球サブセットが形成する線維化病態のダイナミズム
ホソカワ トモヒサ 細川 智永 名古屋大学 大学院理学研究科 講師	液-液相分離の制御によるパーキンソン病の進行抑制
マナベ ヨシユキ 真鍋 良幸 大阪大学 大学院理学研究科 助教	ゴルジ体/小胞体選択的薬物送達で拓く糖鎖エディティング
ヤザキ リョウ 矢崎 亮 九州大学 大学院薬学研究院 助教	重水素化合物の実用化に向けた合成基盤の創成



対象者	研究題目
ヤマモト ショウヘイ 山本 昌平 東京大学 大学院薬学系研究科 助教	中心体-微小管ネットワークの再構成による細胞型 ロボットの開発
ヨコイ タイシ 横井 太史 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 准教授	剥がれないアパタイトコーティングの創製
ワカバヤシ トモミ 若林 智美 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教	日長制御によるミヤコグサの開花時期種内多型と環境 適応機構の解明
小計 40件	

【人文・社会科学系】対象者は次頁)



【人文・社会科学系】

対象者	研究題目
アケサカ ミカ 明坂 弥香 神戸大学 経済経営研究所 助教	姿なき殺人鬼：花粉症による事故の増加と経済損失
ウタガワ コウイチ 歌川 光一 聖路加国際大学 大学院看護学研究科 准教授	生涯学習政策におけるシリアスレジャーの位置づけ方をめぐる日米比較
ガデミ アミン Ghadimi, Amin 大阪大学 大学院人文学研究科 講師	士族反乱のグローバル思想史——神風連の乱を中心に
カネザキ ユウコ 金崎 由布子 東京大学 総合研究博物館 助教	南米アマゾンの持続可能な開発に向けた基盤研究：考古学および古気候学的アプローチをもとに
コジマ ダイゾウ 小嶋 大造 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授	家計の食品ロス削減に関する実証分析
ツチダ チアキ 土田 千愛 東京大学 大学院総合文化研究科 特任助教	一時的保護の再考：ウクライナ避難民の保護を事例に
フジムラ タツヤ 藤村 達也 京都大学 大学院教育学研究科 助教	戦後日本における大学受験の大衆化と日本型受験産業の展開
ミサワ ダイジュ 三沢 大樹 東海大学 児童教育学部 准教授	日本歌曲の演奏に於ける新たな視点からのアプローチ法に関する基礎的研究
ヤマト ユウコ 大和 祐子 大阪大学 日本語日本文化教育センター 准教授	漢字系・非漢字系日本語学習者による漢字語彙の処理：書字行動分析からの検討
ヤマモト ケント 山本 健人 北九州市立大学 法学部 准教授	宗教団体からの離脱の権利に関する憲法学的探求
	小計 10件
	計 50件

※肩書きは 2023 年 3 月 10 日現在